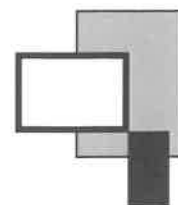


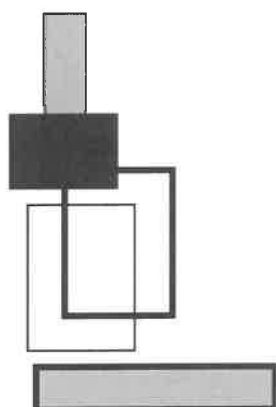


Matsuyama
Business
College



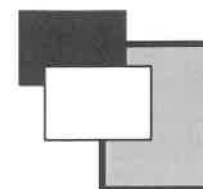
松山デザイナー専門学校

ファッションビジネス学科



2023 年度

シラバス



ショップマスターコース 1 年

名前

※一年間、各自保管すること

令和5年度

服飾家政専門課程 ファッションビジネス学科 ショップマスターコース

必修/ 選択		区分	科目名	種別	担当者	ショップマスターコース 1年		
						前期	後期	単位
必修		学 科 共 通	色彩学Ⅰ(全学科共通)	講義	青田	30		2
			ファッション販売理論Ⅰ	講義	地紙	60		4
			ファッション販売実技Ⅰ	実習	越智	30		1
			西洋服飾史(全学科共通)	講義	地紙	30		2
			デジタル演習Ⅰ(全学科共通)	実習	四田	30		1
			カメラ演習Ⅰ	実習	光藤	60		2
			色彩学Ⅱ(全学科共通)	講義	青田		30	2
			ファッション販売理論Ⅱ	講義	地紙		60	4
			ファッション販売実技Ⅱ	実習	越智		60	2
			デジタル演習Ⅱ(全学科共通)	実習	野田		30	1
			カメラ演習Ⅱ	実習	玉本		30	1
			業界研究	講義	特別講師		60	4
		シ ョ ッ プ マ ス ター コ ー ス	ショップマスターⅠ	講義	井澤・武智・桑原	60		4
			ファッションビジネスⅠ	講義	青田	60		4
			サービス接遇	講義	重橋	30		2
			ネットビジネスⅠ	講義	永田	30		2
			ショップマスターⅡ	講義	井澤・武智・桑原		60	4
			ファッションビジネスⅡ	講義	青田・大方		60	4
			マーケティング	講義	大方		30	2
			ネットビジネスⅡ	講義	永田		30	2
			店舗実習Ⅰ	講義	-		30	2
						420	480	52
必修科目 合計						900		52
選択			ネイル実技・理論Ⅰ	実習	水本	60		2
			ヘアメイク実技・理論Ⅰ	実習	地紙	60		2
			ネイル実技・理論Ⅱ	実習	水本		60	2
			ヘアメイク実技・理論Ⅱ	実習	地紙		60	2
選択科目 合計								
年間合計時間/単位数						900		52

1 講義は15～30時間を1単位とし、実習は30～45時間を1単位とする。

2 選択科目は、小計欄に記載されている時間数及び単位数以上になるよう履修すること。

3 選択科目の時間数及び単位数は、履修開始時期にのみ記載し、次年度以降も履修可能とする。

授業科目	色彩学Ⅰ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	青田 梨沙			時間割	木曜 2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	色彩に関する基本的な理論を網羅するとともに、必要な箇所ではファッション写真を具体的に例示しながら、わかりやすく学ぶ。						
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定3級合格できる知識の習得。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	概論－色彩の働き		生活のおける色彩、ファッション における色彩				
3	色彩の体系		色の三属性				
4～5	〃		ヒュー&トーン				
6～7	色彩理論－基礎		色の成り立ち、光と色、三原色と混色				
8	〃		視覚と色				
9～10	〃		色彩と心理				
11～12	色彩の技術		配色の基礎				
13～14	〃		色彩構成の基礎				
15	テスト		修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	ファッション色彩Ⅰ：日本ファッション教育振興協会 ファッション色彩能力検定試験3級問題集：日本ファッション教育振興協会						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	修了テスト100%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッション色彩能力検定3級 2024年1月13日(土)		
備考							

授業科目	ファッション販売理論Ⅰ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	地紙 友紀			時間割	金曜 3・4限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	的確に個々のお客様のニーズを察知し、持っている専門的な知識・技術・情報を提供し、お店のコンセプトに基づく商品のコーディネートを含め、適切に商品を奨め、販売のできる「販売スタッフ」の人材育成。						
学習到達 目標	ファッション販売能力検定3級合格できる知識の習得。						
担当教員の 授業に関わる 実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	ファッション販売知識		ファッションとは、ファッション販売について				
3～4			ファッション小売業の業種・業態、お客様にとって店とは				
5～6			お客様について、ライフスタイルショップの販売知識				
7～8	ファッション販売技術		販売スタッフの基本マナー、購買心理の理解				
9～10			買い物の仕方、接客の基本とコンサルティングセールス				
11～12			包装、贈答のマナー				
13～14	商品知識		アイテムの知識				
15～16			インナーウェアの知識、服飾雑貨				
17～18			素材の種類と加工				
19～20			シルエットの知識、衣服の構成とディテール				
21～22			柄の種類と特徴、色彩と配色の知識				
23～24			サイズの知識、商品の品質管理、副資材の種類				
25～26	売り場づくり		店舗の環境づくり				
27～28			マーチャндаイズプレゼンテーション				
29～30	修了テスト		修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	ファッション販売3: 日本ファッション教育振興協会						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題20%、ノート20%、修了テスト60%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッション販売能力検定3級 2023年12月2日(土)		
備考	各自ルーズリーフを準備すること。						

授業科目	ファッション販売実技Ⅰ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	越智 志のぶ	時間割	水曜 3限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年
授業科目の テーマと目的	店舗スタッフとして必要な知識、技術の習得。				
学習到達 目標	現場で使える基礎知識を身に付ける。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 アパレルショップのスタッフとして経験のある講師が、その経験を活かし、販売に関する基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～2	基礎知識	売上ツリー、接客8大用語			
3～5	接客基礎	購買心理8段階、5W1H、挨拶、声出し			
6～7	接客基礎	共感・褒め、不安解消、ポジショニング、動的待機			
8～11	アプローチ	MDAに関する基礎、ニーズ確認			
12～13	VMDの基礎	おたたみ、マネキン着せ替え			
14	ディスカッション	アパレルに関して			
15	テスト	修了テスト			
使用テキスト 教材・教具					
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	ノート20%、小テスト20%、ロープレ30%、修了テスト30%で評価する。				
履修上の 留意点	授業内容により、私服を準備する場合があります。		検定試験の 概要		
備考	1年間続けて使えるノートなどを準備すること。				

授業科目	西洋服飾史	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	地紙 友紀	時間割	木曜 1限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年
授業科目の テーマと目的	日本・西洋の服飾の歴史や現代モードなどの服飾文化を通して、流行の変遷やトレンドを読み解く力を身につける。				
学習到達 目標	服飾の歴史を知り、これからのデザイン発想や販売・スタイリングに役立つ知識の習得。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無 【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～2	服飾史概論	衣服とは、身近なシャツを解体し服の構造を知る			
3	古代エジプト・古代ギリ シャ・ローマ	古代ギリシャ、古代ローマの服飾について			
4	古代ゲルマン・中世ヨー ロッパ	ビザンティン、ロマネスク、ゴシックの服飾について			
5～6	16世紀～17世紀	ルネサンス、バロック時代、ロココ時代の服飾について			
7	17世紀～19世紀	新古典主義、クリノリン、バツスル、S字シルエットなどの服飾につい て			
8	19世紀～近代	現代における洋服の変遷や代表的なデザイナーを知る			
9	〃	シャネル・ディオール			
10	ブランド調査レポート	それぞれブランドを選択し、歴史やルーツを辿る			
11	ブランド発表	作成したレポートをもとに、発表(1人5分)			
12	1960～1970年台	戦後のファッション～ヒッピースタイル			
13	1980～1990年台	バブル経済～ストリートファッション			
14	2000～2010年台	現代のトレンド			
15	テスト	修了テスト			
使用テキスト 教材・教具	配布プリント				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	レポート50%、修了テスト50%で評価する。				
履修上の 留意点		検定試験の 概要			
備考					

授業科目	デジタル演習Ⅰ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	四田 素子	時間割	月曜 4限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年 ファッションビジネス学科 1年
授業科目の テーマと目的	ビジネスに必要な「Microsoft Word」「Microsoft Excel」「Microsoft PowerPoint」の基本操作を学習する。				
学習到達 目標	Microsoft Word, Excel, PowerPointの操作スキルを習得する。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	Word ①	授業科目のテーマと目的、Wordの基本操作を学ぶ			
2	Word ②	Wordで基本的な文書を作成する			
3	Word ③	画像や図形を活用した文書を作成する			
4	Word ④	表を活用した文書を作成する			
5	Word 演習	Wordの復習として演習課題を解く			
6	PowerPoint ①	PowerPointで簡単なプレゼンテーションを作成する			
7	PowerPoint ②	図形や画像を挿入し編集する SmartArtやグラフを活用する			
8	PowerPoint ③	スライドショーを実行する 配布資料を作成する			
9	PowerPoint 演習	PowerPointの復習として演習課題を解く			
10	Excel ①	Excelの基本操作を学ぶ			
11	Excel ②	表の体裁を整える 基本の関数を使う			
12	Excel ③	いろいろな関数を利用する			
13	Excel ④	グラフを作成する データベース機能を利用する			
14	Excel 演習	Excelの復習として演習課題を解く			
15	まとめ	WordとExcelを連携した書類を作成する			
使用テキスト 教材・教具	今すぐ使えるかんたんOffice for Mac【Office 2021/Microsoft 365 両対応】:技術評論社 ISBN: 9784297127916 USBメモリ32GB				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	小テスト30%、課題作成70%で評価する。				
履修上の 留意点		検定試験の 概要			
備考					

授業科目	カメラ演習 I			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	光藤 知泉			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	撮影に関する基礎知識とカメラ技術について学び、ファッションと写真の関わり方を理解する。また、ファッション業界に関わるSNSの効果的な写真の活用法を実践し、活用していく。						
学習到達 目標	SNS・ネット販売の運用。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 雑誌や広告などのカメラマン経験がある講師がその経験を活かし、撮影に関するの基礎知識や技術、編集や印刷工程との連携などを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～4	カメラ概論	カメラ演習とは 機材の名称、DPI(解像度)の違い、光、背景、色の効果、印刷工程					
5～6	カメラテクニック別	実習1 人物撮影(ライティング無での撮影)～画像補正と加工					
7～8		実習2 物撮り(ライティング無での撮影)～画像補正と加工					
9～10		実習3 課題研究(撮影～画像現像まで)オリジナルと現像後画像の提出					
11～12		実習4 ライティング					
13	目的別	実習5 ネット販売用撮影について					
14～16		実習6 商品撮影・課題研究(ネット販売用画像とページの作成)					
17～20	シーン別	実習7 ファッション雑誌:リサーチ、プレゼン					
		ファッション雑誌:セッティング					
		ファッション雑誌:ライティング、撮影					
21～24	ポスター	実習8 課題研究(グループ制作)ポスター制作					
25～26	テーマ別	実習9 SNS					
27～28		SNS課題撮影					
29～30		実習10 作品集作成					
使用テキスト 教材・教具	スマホ、iPad、カメラ(一眼・デジカメ)、リングライト、撮影ボックスなど						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題40%、作品60%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	色彩学Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	青田 梨沙			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	商品企画やデザイン制作、接客において複数提案できる色彩スキルを身につける。						
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定3級合格。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	ファッション産業と色彩		ファッション産業における色彩の役割				
2	〃		企画段階の色彩、生産段階の色彩、流通段階の色彩				
3	〃		染色について				
4	〃		ビジュアルマーチャンダイジング(VP・PP・IP)				
5	〃		照明の色と種類				
6～12	検定対策		過去問題集から模擬テスト、解答				
13～14	骨格診断		骨格診断の概要、骨格診断のファッションへの応用				
15	テスト		修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	ファッション色彩Ⅰ：日本ファッション教育振興協会 ファッション色彩能力検定試験3級問題集：日本ファッション教育振興協会						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	模擬テスト30%、修了テスト30%、検定40%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッション色彩能力検定3級 2024年1月13日(土)		
備考							

授業科目	ファッション販売理論Ⅱ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	地紙 友紀			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	的確に個々のお客様のニーズを察知し、持っている専門的な知識・技術・情報を提供し、お店のコンセプトに基づく商品のコーディネートを含め、適切に商品を奨め、販売のできる「販売スタッフ」の人材育成。						
学習到達 目標	ファッション販売能力検定3級合格。						
担当教員の 授業に関わる 実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～4	売場づくり	店舗の環境づくり					
		マーチャンダイズプレゼンテーション					
5～13	マーケティング	マーケティングの基礎知識					
		店舗の強みと弱み、ターゲットマーケティング					
		情報収集の目的と必要性					
14	販売スタッフの業務	商品管理、係数知識					
15～26	練習問題	練習問題解答・解説					
27～28	ファッション販売知識	販売スタッフへの期待、販売スタッフの役割					
29～30		販売に必要な情報、顧客づくりの重要性と管理術					
使用テキスト 教材・教具	ファッション販売3：日本ファッション教育振興協会						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題30%、模擬テスト30%、検定40%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッション販売能力検定3級 2023年12月2日(土)		
備考	各自ノートを準備すること。						

授業科目	ファッション販売実技Ⅱ		時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	越智 志のぶ		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年	
授業科目の テーマと目的	店舗スタッフとして必要な知識、技術の習得。					
学習到達 目標	現場で使える基礎知識を身に付ける。					
担当教員の 授業に関わる 実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 アパレルショップのスタッフとして経験のある講師が、その経験を活かし、販売に関する基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1	販売基礎実技		マネキンの着せ替え、たたみテスト			
2～5	トレンド調査		トレンド調査、発表			
6～8	PDCA		PDCAについての基礎知識			
9～10	タイプ別診断		自身のタイプを知る			
11	自己分析		自分自身を見つめなおし課題を発見する			
12	目標設定		課題解決の道筋を立て、他者に開示			
13～17	接客とは		接客とは何か後期授業で改めて振り返る			
18	テスト		中間テスト			
19～21	3C分析		3C分析について、調査、発表			
22～24	接客実践		接客ロープレ			
25	ディスカッション		グループごとにディスカッション			
26～29	トレンド調査		トレンド調査、発表			
30	テスト		修了テスト			
使用テキスト 教材・教具						
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	ノート10%、ロープレ30%、プレゼン30%、修了テスト30%で評価する。					
履修上の 留意点	授業内容により、私服を準備する場合があります。			検定試験の 概要		
備考	1年間続けて使えるノートなどを準備すること。					

授業科目	デジタル演習Ⅱ		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年	
授業科目の テーマと目的	Adobe Illustrator、Photoshopを中心に基本操作から応用までのテクニックを修得できクリエイション デザインの幅を広げるのが目標。					
学習到達 目標	ハンガーイラスト、スタイル画をPCで描ける。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～2	Illustrator	直線ツール、曲線ツールの使い方				
3～4	〃	キャラクターを使用してツールの使い方を応用				
5～6	Photoshop	切り抜き、クリッピングマスクを使用しマガジンを作成				
7～8	Illustrator・Photoshop	Photoshopでの着色方法、Illustratorでハンガーイラスト の作成、				
9～10	Illustrator・Photoshop	ハンガーイラスト の作成、リフレクトツール、パスの連結 デザイン画をペン入れしスキャン後Photoshopで着色				
11～12	〃	Illustrator、Photoshopを使用しデザインマップを作成				
13～14	〃	マップからのデザイン発表				
15	修了テスト	マガジン(Photoshop切り貼り) ハンガーイラスト (Illustratorペンツール、リフレクトツール) デザイン画着色 (Photoshop着色)				
使用テキスト 教材・教具	プリント配布					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	課題60%、修了テスト40%で評価する。					
履修上の 留意点				検定試験の 概要		
備考						

授業科目	カメラ演習Ⅱ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	玉本 慎平	時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年
授業科目の テーマと目的	撮影に関するカメラ技術と感性について学び、ファッションと写真の関わり方を理解する。実践的な授業を繰り返し、ファッション業界で通じる被写体の捉え方など多角的な撮影テクニックを学ぶ。				
学習到達 目標	一眼カメラで作品を撮る。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 現役カメラマンによる実践的な指導をする。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～3	実習1	カメラ感性について、機材の扱い方、実践			
4～6	実習2	テーマ設定、モデル			
7～9	実習3	テーマ設定、モデル			
10～11	実習4	テーマ設定、モデル			
12～15	実習5	作品集			
使用テキスト 教材・教具	カメラ(一眼)				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	作品100%で評価する。				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考					

授業科目	業界研究			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	特別講師			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	各分野の第一線で活躍されている講師による特別授業。専門学校の授業が実社会でどのように結びついているのかなど、知識だけではなく多方面から取り組む授業を実施。						
学習到達 目標	主体性や、ファッションに対する創造性・興味・関心・意欲を向上させる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 各分野の第一線で活躍されている講師陣による特別授業。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	舞台衣装		特別講義 1				
3～4	テキスタイル		特別講義 2				
5～6	ショップマスター		特別講義 3				
7～8	スタイリスト		特別講義 4				
9～10	デザイン		特別講義 5				
11～12	ポートフォリオ		特別講義 6				
13～14	コスチューム		特別講義 7				
15～16	メンズ		特別講義 8				
17～18	レディース		特別講義 9				
19～20	カメラ、映像		特別講義 10				
21～22	ライティング		特別講義 11				
23～24	スタイリスト		特別講義 12				
25～26	ブランド		特別講義 13				
27～28	経営		特別講義 14				
29～30	就職、キャリア		特別講義 15				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題100%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ショップマスターⅠ	時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	武智弘晃、井澤元気、桑原美知	時間割	火曜 1・2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ショップマスターコース1年
授業科目の テーマと目的	ショップマスター(店長)をはじめ、売り場で販売に携わるスタッフのショップ運営の基本を理解する。				
学習到達 目標	ショップマスターの仕事を理解する。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 店長として経験のある講師がその経験を活かし、店長業務に関する基礎知識や技術、応用テクニクなどを指導する。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	自己紹介、コミュニケーション	自己紹介・自己PR、コミュニケーション	武智		
2～3	コミュニケーション能力向上vol.1	基本的なビジネスコミュニケーション能力向上を目的	武智		
4	ショップマスターの仕事	企業研究、企業の仕組み、店長業務	武智		
5～6	販売員の敬語、マナー、姿勢	社会人の基本的な敬語、マナー講座	武智		
7～8	接客プロセス研究	接客のプロセスを学ぶ	武智		
9～11	販売RPGとFEEDBACK	模擬販売の指導(動画撮影)、プレゼンテーション	武智		
12～14	売上計算とHOW TO	販売する上で必要な専門用語と計算方法	武智		
15	まとめテスト	まとめとテスト	武智		
16～19	ショップマスター概論	ショップマスターとは、マーケティング、ブランディング	井澤・桑原		
20～21	販売方法		井澤・桑原		
22～26	Web shop	Web shop立ち上げ	井澤・桑原		
27～29	商品投稿、買い付け	課題研究	井澤・桑原		
30	プレゼン		井澤・桑原		
使用テキスト 教材・教具	画用紙、ファッション雑誌				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	実店舗のプレゼン25%、テスト25%、課題25%、Webショップのプレゼン25%で評価する。				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考					

授業科目	ファッションビジネス I		時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	青田 梨沙		時間割	月曜 2限 木曜 3限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・専攻・学年)	シヨップマスターコース 1年	
授業科目の テーマと目的	アパレル業界の構造・流通を総合的に理解し基礎能力を修得する。ファッション産業の構造・マーケティング・商品知識・計数管理など、ファッションビジネスに必要な情報を理解する。					
学習到達 目標	ファッションビジネスの基礎知識を習得した上でファッションビジネス能力検定3級合格を目指す。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～3	ファッションビジネスの概要	ファッションビジネスの定義と特性、繊維ファッション産業の概要 ファッションビジネスの歩み、今日のファッションビジネスの動向				
4～6	ファッション生活 ファッション消費	消費者行動とファッション表現、ライフスタイルとファッション お客様の購買動向				
7～9	ファッション産業構造	アパレル産業の概要、ファッション小売業とSCの概要 ネットビジネスの概要				
10～14	ファッションマーケティング	マーケティングの基礎知識、消費者分類の手法 市場調査の基礎知識				
15～18	ファッション マーチャンダイジング	マーチャンダイジングの基礎知識、商品の企画・生産・販売の流れ リテール品揃えの基礎知識、ファッション資料の知識				
19～22	ファッション流通	流通に関する基礎知識、ファッションシヨップの仕組みと業務				
23～25	ファッション産業の職種概要	ファッション産業の職種概要、求人、採用				
26～29	ビジネス基礎知識	会社に関する基礎知識、係数の基礎知識、IT基礎知識				
30	テスト	修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	ファッションビジネス3級新版：日本ファッション教育振興協会 FB能力検定試験3級項目別試験問題・解答集改訂版：日本ファッション教育振興協会					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	課題50%、修了テスト50%で評価する。					
履修上の 留意点			検定試験の 概要	ファッションビジネス能力検定3級 2023年11月18日(土)		
備考						

授業科目	サービス接客			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	重橋 秀香			時間割	月曜3限 水曜1限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ショップマスターコース 1年		
授業科目の テーマと目的	サービス業務に対する心構えやサービスの意義、機能、種類をはじめ商業用語や経済用語を理解する。接客者としての基本的なマナーや話し方などを学び、サービスを行うために必要な知識や技能を身に付ける。						
学習到達 目標	サービス接客検定3級取得。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	サービススタッフの資質		サービス業においての良識を持ち必要とされる要件を心得る。				
2	サービス知識		サービスの意義、機能、種類を理解する。				
3	従業知識		商業用語、経済用語を理解する。				
4	社会常識		社会常識や時事問題の知識を身に付ける。				
5	人間関係		一般的に、人間関係や対人心理を学ぶ。				
6	接客知識		接客者としてのマナーを身に付ける。				
7	話し方・服装		接客用語を学び、接客者としての基本的な話し方や服装を理解する。				
8	問題処理・環境整備		問題が起きた時の適切な処理の仕方やサービス業に相応しい環境を学ぶ。				
9	金品管理・社交業務		金品の管理や社交儀礼の業務について理解する。				
10	模擬試験①		サービス接客の過去の試験問題を解く。				
11	模擬試験①回答、解説		試験問題の回答、解説をし、本試験に備える。				
12	模擬試験②		サービス接客の過去の試験問題を解く。				
13	模擬試験②回答、解説		試験問題の回答、解説をし、本試験に備える。				
14	模擬試験③		サービス接客の過去の試験問題を解く。				
15	模擬試験③回答、解説		試験問題の回答、解説をし、本試験に備える。				
使用テキスト 教材・教具	サービス接客検定 3級公式テキスト(早稲田教育出版) サービス接客検定 実問題集3級(早稲田教育出版)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	模擬テスト60%、検定40%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	サービス接客検定3級 2023年6月11日(日)		
備考							

授業科目	ネットビジネスⅠ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	永田 俊之	時間割	水曜 1,2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ショップマスターコース 1年
授業科目の テーマと目的	ネット上で公開されているWebページを検証し、現在の「はやりのレイアウト」を掴む技法を学習する。そのデザインを選択した意図や技術的な進歩がデザインに与える影響など、背景にある要因を読み取るための手法を学ぶ。				
学習到達 目標	クライアントニーズとユーザーニーズに対し、「見た目のトレンド」「技術的なトレンド」「競合分析」など他角的に分析しサイト制作に落とし込める知識を身につけるようになる。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ディレクターとして企業サイト、キャンペーンサイト、LP、システム案件のフロント、ECサイトなどジャンルや業種を問わずニーズ・予算に応じたサイト制作の提案と設計・進行管理。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	Webサイトの歴史	Webサイトのデザインや役割における変化の歴史			
2	Webサイトの種類	サイトの種類とそれぞれの役割			小テスト
3	業種ごとのトレンド遍歴	業界や業種ごとのWebにおけるトレンドの変化			小テスト
4	参考サイトの探し方	ギャラリーサイトや検索エンジンを用いた参考サイトの探し方			
5	デザイントレンドの探り方	デザインにおけるトレンドの探り方			
6					
7	第1回分析レポート発表会	事前テーマを元にまとめたレポートを各自に発表			レポート
8					
9	技術的トレンドの探り方	Webにおける技術的なトレンドの探り方			小テスト
10	既存サイトの改善分析	対象となるサイトの問題点の洗い出し方と改善案			小テスト
11	第2回分析レポート発表会	事前テーマを元にまとめたレポートを各自に発表			レポート
12					
13	改善事例の考察	リニューアル後の改善事例の考察			
14	第3回分析レポート発表会	事前テーマを元にまとめたレポートを各自に発表			レポート
15					
使用テキスト 教材・教具	オリジナルデータ教材、スライド				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	小テスト40%、レポート発表内容60%で評価する。				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考					

授業科目	ショッピングマスターⅡ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	武智弘晃、井澤元気、桑原美知			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ショッピングマスターコース1年		
授業科目の テーマと目的	ショッピングマスター(店長)をはじめ、売り場で販売に携わるスタッフのショッピング運営の基本を理解する。マップや、ショッピング見学を通し、実際の現場の構成を把握し、リサーチ力と自分のプランを創り出す。						
学習到達 目標	ショッピングマスターの仕事を理解する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 店長として経験のある講師がその経験を活かし、店長業務に関する基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	前期振り返り	前期授業の振り返り					武智
2～3	情報収集とアウトプット	インプットとアウトプット					武智
4	セールスポイント研究	商品の特性を“見つける”“伝える”					武智
5	販売心理学	顧客の購買行動・心理を研究					武智
6	コミュニケーション能力向上vol.2	vol.1を踏まえたコミュニケーション能力の研究					武智
7～8	レイアウト講座	導線やフォーカルポイントの作成/他業種のVMD研究					武智
9～12	他業種研究、プレゼン	実店舗での接客体験、レイアウトを研究、プレゼン					武智
13～14	販売RPGとFB	模擬販売の指導(動画撮影)					武智
15	まとめテスト	まとめとテスト					武智
16～19	アイテム製品	前期振り返り、アイテム製品の流れ、Tシャツデザイン、自分の強み、コンセプト10項目、原価					井澤・桑原
20～21	デザイン	デザインについて、デザイン制作					井澤・桑原
22～23	ボディ	ボディについて、プリントの種類					井澤・桑原
24～27	サンプル商品	サンプル作品制作、シルクスクリーン					井澤・桑原
28～29	将来像と実現方法						井澤・桑原
30	プレゼン	プレゼン、能力と手段、ファッションビジネス業界					井澤・桑原
使用テキスト 教材・教具	画用紙、ファッション雑誌						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	実店舗のプレゼン25%、テスト25%、課題25%、Webショッピングのプレゼン25%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ファッションビジネスⅡ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	青田 梨沙、大方 和則			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ショップマスターコース 1年		
授業科目の テーマと目的	アパレル業界の構造・流通を総合的に理解し基礎能力を修得する。ファッション産業の構造・マーケティング・商品知識・計数管理など、ファッションビジネスに必要な情報を理解する。3級検定後、2級の範囲を学ぶ。						
学習到達 目標	ファッションビジネスの基礎知識を習得した上でファッションビジネス能力検定3級合格する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 大方和則:ショップスタッフ7年 店長3年 パイヤー・マネージャー7年					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	ファッション、デザイン、アパレル	衣服とアパレルデザインの基礎知識					青田
2～3	ファッションコーディネーション	コーディネート基礎知識、ディスプレイ知識					青田
4～5	ファッション商品知識	アイテム、シルエット、ディテール					青田
6～7		品質・品質表示の知識、サイズの知識					青田
8～9		繊維、糸の知識、織物の知識、染色の知識、ニットの知識					青田
10		ファッションデザイン	デザイン画と製品図の理解、デザインと機能、色彩基礎知識、柄の知識				
11	ファッション・エンジニアリング	服飾造形に関する基礎知識、パターン、アパレル製造					青田
12～15	問題集	過去問題集解答解説(模擬テスト)					青田
16～17	2級テキスト	ビジネス1章					大方
18～19	2級テキスト	ビジネス2章 ビジネス3章					大方
20～21	2級テキスト	ビジネス3章 ビジネス4章					大方
22～23	2級テキスト	ビジネス4章 ビジネス5章					大方
24～25	2級テキスト	ビジネス5章 ビジネス6章					大方
26～27	2級テキスト	ビジネス6章 ビジネス7章					大方
28～29	2級テキスト	ビジネス7章 ビジネス8章					大方
30	2級テキスト	ビジネス8章					大方
使用テキスト 教材・教具	ファッションビジネス3級新版:日本ファッション教育振興協会 FB能力検定試験3級項目別試験問題・解答集改訂版:日本ファッション教育振興協会 ファッションビジネス2級新版:日本ファッション教育振興協会 FB能力検定試験2級項目別試験問題・解答集:日本ファッション教育振興協会						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	模擬テスト50%、課題50%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッションビジネス能力検定3級 2023年11月18日(土)		
備考							

授業科目	マーケティング		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	大方 和則		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年 ショップマスターコース 1年	
授業科目の テーマと目的	実際に店舗開発をシュミレーションし、ファッションマーケティングを実践的に学ぶ。					
学習到達 目標	ファッションマーケティングの基礎知識を説明できる。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ショップスタッフ7年 店長3年 バイヤー・マネージャー7年				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1	ファッション業界の現状		現在の市場動向を把握 マーケティングとは			
2	店舗企画		価値の創出 コンセプト パーパス			
3	店舗企画		スタイリングイメージ			
4	店舗企画		STP分析			
5	店舗企画		バイイング SS			
6	店舗企画		バイイング AW			
7	店舗企画		PB企画 生産生産			
8	店舗企画		PB企画 海外生産			
9	店舗企画		オンラインショップ メタバース			
10	店舗企画		立地戦略			
11	店舗企画		52週MD VMDについて			
12	店舗企画		インスタプロモーション 接客			
13	店舗企画		3か年予算計画			
14	店舗企画		初年度月別予算			
15	総論		プレゼンテーション			
使用テキスト 教材・教具	パソコン					
参考図書 参考文献	ファッションビジネス能力検定2.3級 ファッション販売能力検定2.3級					
成績評価の 方法・基準	課題100で評価する。					
履修上の 留意点				検定試験の 概要		
備考						

授業科目	ネットビジネスⅡ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	永田 俊之	時間割	水曜 1,2限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ショップマスターコース 1年
授業科目の テーマと目的	ネット上に公開されているデータの収集方法や、キーワード分析、アクセス解析などデータを分析する技術を学習する。またその分析結果から、ターゲット層をWebサイトに誘導するために効果的なキーワードを選定したり、検索エンジンの検索結果上位に表示させるための記事の書き方などを学習する。				
学習到達 目標	クライアントニーズを踏まえた上で、競合や市場の流れを分析するスキルとGoogleのWeb解析ツールの基礎的な活用方法を身につける。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 企業サイト、キャンペーンサイト、LP、システム案件のフロント、ECサイトなどジャンルや業種を問わず100社程度のサイト構築実績。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	Webワード分析とは	Webにおけるワード分析とは			
2	作業環境構築	各自のGoogleアカウントを用いてアナリティクス、サーチコンソールの開設と共有作業を行う			
3	検索エンジンとは	検索エンジンの種類と違いと特徴			小テスト
4	SEOとPDCAの重要性	SEOとPDCAの相関関係について			
5	METAタグの重要性	titleやdiscriptionの設定で得られる効果			小テスト
6	「検索フレーズ」と「キーワード」	「検索フレーズ」と「キーワード」の違い			
7	リニューアル時間問題点のデータ収集	データツールを用いた分析で問題点の解決につながるサイトキーワードの導き出し方			小テスト
8	実際に改善してみよう	デモサイトを用いて実際にキーワードやサイト内フレーズを変更する一連の流れを説明しながら進める			
9	Web解析ツールを活用	Google Web解析ツールを活用した改善点の探し方			小テスト
10	Googleトレンド分析	Googleトレンドを用いたワードの分析方法			
11	レポート発表会	事前テーマを元にまとめたレポートを各自に発表			レポート
12	Googleアナリティクス分析	デモサイトを用いてGoogleアナリティクスの見方・活用方法を知る			
13	Googleサーチコンソール分析	デモサイトを用いてGoogleサーチコンソールの見方・活用方法を知る			
14	コンテンツマーケティングとは	コンテンツマーケティングを用いたターゲットワードでの集客方法と事例紹介			小テスト
15	効果測定考察会	7でおこなった施策で得られた変化を確認しながら考察する			期末テスト
使用テキスト 教材・教具	オリジナルデータ教材、スライド				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	小テスト20%、レポート発表内容40%、期末テスト40%で評価する。				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考					

授業科目	店舗実習Ⅰ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	—			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ショップマスターコース 1年		
授業科目の テーマと目的	店舗での実践教育を通じて、必要な知識や技術の習得。						
学習到達 目標	各店舗での様々な業務を経験するとともに、コミュニケーション能力を身につける。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 各店舗実習先で実際に業務に携わっている者が指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	接客の心得		接客技術とスタッフの仕事について				
2	店舗リサーチ		各店舗の調査				
3～15	店舗実習		各店舗において職業体験、まとめ				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	各店舗からの評価結果100%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ネイル実技・理論Ⅰ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	水本 信子 (Nail&Aroma リヤド)			時間割	月曜 1,2限	開講期	前期
選択/必修	選択	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ショップマスターコース 1年		
授業科目の テーマと目的	日本ネイリスト協会本部認定講師のネイリストがオーナーを務める『Nail&Aroma リヤド』と連携し、ネイルに関する基礎的な理論と技術を身に付け、JNECネイリスト技能検定試験3級、JNAジェルネイル技能検定試験初級の取得を目指す。						
学習到達 目標	JNECネイリスト技能検定試験3級・JNAジェルネイル技能検定試験 初級取得。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ネイルサロンでの施術・接客、ネイル検定試験の試験官経験のある講師が、その経験を活かし、ネイルの知識や技術、検定試験対策などを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	プレマニキュア、カットスタイル	テーブルセッティング、用具用材、カットスタイルについて、理論、実技					
3～4	爪の構造と働き、ネイルケア	理論、ネイルケア(ファイリング・カラーリング・ポリッシュオフ)					
5～6	化粧品学、ネイルケア	理論、ネイルケア(キューティクルクリーン)					
7～8	消毒法、ネイルケア	理論・ネイルケア(相モデル)					
9～10	歴史、技術体系、ネイルケア	理論、ネイルケア(相モデル)					
11～12	爪の病気とトラブル ネイルケア	理論、ネイルケア(相モデル)					
13～14	皮膚科学、生理解剖学 ネイルケア	理論、ネイルケア(相モデル)					
15～16	色彩理論、ネイルアート	理論、ネイルアート					
17～24	3級検定対策	ネイルケア、ネイルアート					
25～30	ジェルネイル	ジェルネイル理論、実技					
使用テキスト 教材・教具	JNAテクニカルシステム ベーシック(NPO法人日本ネイリスト協会) ネイルケア用具用材、ジェルネイル用具用材						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題30%、理論模擬テスト30%、検定試験40%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	JNECネイリスト技能検定試験3級:2023年7月16日(日) JNAジェルネイル技能検定初級:2023年10月受験予定		
備考							

授業科目	ヘアメイク実技・理論Ⅰ	時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	地紙 友紀	時間割	火曜 1・2限	開講期	前期
選択/必修	選択	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	シヨップマスターコース 1年
授業科目の テーマと目的	ブライダル・広告撮影・CMなど様々なジャンルのヘアメイクを担当する。基礎を学びながら、自分らしい作品を作り上げられるように様々なことに挑戦できる学習にする。				
学習到達 目標	ヘアメイクトータルで90分仕上げ。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 美容師歴10年・美容教員8年の経験を活かし、ヘアメイクの基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	スキンケア理論、メイク アップ理論	道具の説明、メイクアップの理論について説明			
2	クレンジング	ポイントクレンジング～フルクレンジング、整肌について			
3	ベースメイク	ファンデーション、コンシーラ、パウダーについて			
4	眉・凸凹について	眉の描き方、ハイライト、シャドーについて			
5～10	ポイントメイク	アイメイク、チーク、リップなどのポイントメイク基礎			
11～15	ヘア基礎	ブロッキング、コーミング、ピン打ち基礎			
16～19	アップ基礎	逆毛理論			
20～23	カールの作り方	コテの使いかたなど			
24～27	編みこみ	いろいろなパターンの編みこみ			
28～30	ヘアメイク作品づくり	基礎を復習しながらの作品制作			
使用テキスト 教材・教具	ヘアメイク用具セット				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	提出作品を、テーマ理解度25%、デザイン性25%、テクニック25%、スピード25%で評価する。				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考					

授業科目	ネイル実技・理論Ⅱ		時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	水本 信子 (Nail&Aroma リヤド)		時間割	月曜 1,2限	開講期	後期
選択/必修	選択	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ショップマスターコース 1年	
授業科目の テーマと目的	日本ネイリスト協会本部認定講師のネイリストがオーナーを務める『Nail&Aroma リヤド』と連携し、プロレベルのネイル理論と技術を身に付け、JNECネイリスト技能検定試験2級の取得を目指す。					
学習到達 目標	JNAジェルネイル技能検定試験 初級・中級取得。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ネイルサロンでの施術・接客、ネイル検定試験の試験官経験のある講師が、その経験を活かし、ネイルの知識や技術、検定試験対策などを指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～2	ジェルネイル初級	実技・筆記試験対策				
3～4	検定試験	JNAジェルネイル技能検定試験 初級				
5～6	ジェルネイル	ジェルグラデーション				
7～8		ジェルフレンチ				
9～12		ジェルスカルプ				
13～22	ジェルネイル中級	実技・筆記試験対策(相モデルorハンド)				
23～28		ネイルケア、グラデーション、フレンチ、ジェルオフ、ジェルスカルプ				
29～30	検定試験	JNAジェルネイル技能検定試験 中級				
使用テキスト 教材・教具	JNAテクニカルシステム ベーシック、ジェルネイル用具用材					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	課題30%、理論模擬テスト30%、検定試験40%で評価する。					
履修上の 留意点			検定試験の 概要	JNAジェルネイル技能検定初級:2023年10月受験予定 JNAジェルネイル技能検定中級:2024年 1月受験予定		
備考	受験会場が高松の場合は、会場までの交通費を学校規定により後日支給。 規定を上回る金額については自己負担。					

授業科目	ヘアメイク実技・理論Ⅱ		時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	地紙 友紀		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	選択	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	シヨップマスターコース 1年	
授業科目の テーマと目的	美容師歴10年・美容教員8年の経験教員のもと、ヘア・メイク基礎を学びながら、自分らしい作品を作り上げられるように様々なことに挑戦できる学習にする。					
学習到達 目標	ヘアメイクトータルで90分仕上げ。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 美容師歴10年・美容教員8年の経験を活かし、ヘアメイクの基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～5	テーマ別作品づくり	テーマを決めてメイクのみ相モデルで作品を作る				
6～10	テーマ別作品づくり	テーマを決めてヘアのみ相モデルで作品を作る				
11～15	テーマ別作品づくり	ヘアメイクトータルでの作品づくり				
16～18	ヘアアレンジ	アップスタイルのしっかりしたものを作る				
19～23	メイクアレンジ	ショー用のヘアメイク				
24～28	ショー用ヘアメイクアレン ジ	時間を決めて丁寧に作品を作る				
29～30	作品作り	進級にあたっての作品制作				
使用テキスト 教材・教具	ヘアメイク用具セット					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	提出作品を、テーマ理解度25%、デザイン性25%、テクニック25%、スピード25%で評価する。					
履修上の 留意点			検定試験の 概要			
備考						